

「大津町都市計画マスタープラン」に関する御意見

パブリックコメント実施期間 令和8年2月2日（月）から令和8年2月22日（日）
 本計画について、18名の方から30件の御意見あり

No.	該当ページ	御意見	御意見に対する町の考え方
1	P.11	肥後大津駅周辺のまちづくりを頑張ってください。 子どもや高齢者も生活の中で使う場所なので、皆の気持ちが前向きになるような賑やかな場所になって欲しいと思います。今は車が多いため、駅の近くはなるべく車が少なくなるようにできれば、ゆっくり歩いて楽しめる場所になると思います。今の風景や駅の周りのお店で昔から頑張っている人達も大切にしながらまちづくりを進めてください。	肥後大津駅周辺のまちづくりに関しては、令和6年3月に肥後大津駅周辺まちづくり基本構想を、令和7年8月に肥後大津駅周辺まちづくり基本計画を策定し、将来像の実現に向けて、まちづくりの骨格となる空間像や、必要な施設のおおむねの機能、配置、規模、官民連携の考え方等を整理しています。 肥後大津駅周辺のまちづくりの検討を進める中で、まちづくり会議や町民アンケート、社会実験を通じて町民の皆様のご意見をいただき、「人中心の歩くまち」、「人や資源をつむぐまち」といったまちづくりの要点を定め、これに基づいてまちづくりを進めることとしています。 肥後大津駅周辺は本計画においても都市拠点として位置付けており、本町の玄関口となる重要なエリアであることから、本町では、今後、関係者や関係機関、民間事業者等との協議、交渉、調整等を行い、個別施策（駅前広場や自由通路・橋上駅の整備、駅前施設の整備、商業施設沿いや交差点、マイロード沿いの滞留スポットの整備等）の詳細な検討を進めていきます。 頂いたご意見やまちづくりの要点を踏まえ、現状のまちの魅力を活かしながら、歩いて楽しめるまちを目指し、取り組んでいきます。
2	P.58	室（北）交差点から大津IC入口までの交通量を調査していない理由は？	58ページに掲載する24時間自動車交通量は国土交通省が実施する令和3年度の交通センサスを出典としており、一般国道、都道府県道および指定市の市道等の一般道路が調査対象となっています。 なお、室（北）交差点から大津IC入口までの道路は町道（三吉原北出口線）であり、当該道路は一部区間の多車線化を進める予定としていることから、交通センサスとは別に町で交通量を調査しています。
3	P.78	まち作りの理念について。 人と自然と産業が調和した「誰もが住みよく誇りのもてる町 おおづ」という基本理念には賛成ですが、以下2点を提案します。 ①マンション等の建築物には高さ制限をもうける。 ②空港アクセス線の間駅ができた場合の都市開発は、地下水涵養に配慮し最小限にとどめる。 県外、町外の友人たちは、大津の自然と便利さのバランスが取れていることをとても感心しています。長く住んでいると当たり前な景色が、他に類をみない宝となっています。 そして、自然を守ることは、社会や経済がどうなっても命を守る根本的な力になります。 地下水は、白川下流域の熊本市の人たちの命にも関わり、こども達に遺すべき命の財産です。 熊本の水はPFASが検出されるようになり、安心、安全なおいしい水とは言えなくなって来ています。 命を守り、豊かな自然で豊かな心を育むまち作りを希望します。	ご賛同いただきありがとうございます。 用途地域内において建築物の高さ制限を設けており、今後も土地利用の状況に合わせて用途地域の見直しなどの検討を進めます。 84ページに、地下水涵養域の保全の役割も担う地域として「田園ゾーン」を記載しております。
4	P.88	・熊本県の大津都市計画区域マスタープラン（p15 優良な農地との健全な調和に関する方針）に反するアクセス鉄道肥後大津駅分岐ルート 迫井手地区および陣内地区の水田は圃場整備が完了した優良農地であり、農地としての保全を優先するとの方針であるが、この方針に反し、アクセス鉄道の肥後大津分岐ルートでは、その水田としての機能が著しく失われることになり重大な問題である。また、県から、土地改良区、農家への説明すらなされていない。そもそも、開発にかかわる関連法規、農業振興地域の整備に関する法律における農振地区の適用除外、環境影響評価法の複数案の設定においても、肥後大津分岐ルートは問題である。 ・大津町運動公園駅（仮称）分岐ルートの公共事業としての評価 アクセス鉄道肥後大津分岐ルートにおいては、陣内踏切の交通渋滞解消のための、南北道路の具体的な計画が不明である。実現困難な計画より事業費の安い大津町運動公園駅（仮称）分岐ルートへ変更すれば問題解決が可能である。大津町中央部には、公園が不足している、そのような中、大津町中央公園の喪失は、大津町にとって大きな損失であり、公園計画を立案して環境改善を図るべきである。大津町の東部には、大津町運動公園があり、ここにレクリエーション施設を設ける計画があるのなら、公共交通機関としてアクセス鉄道を計画すれば、地域の活性化、阿蘇地域の観光開発へつなげるのではなかろうか。また、大津町東南部地区および西原村地区の開発を刺激する鉄道計画こそ大空港構想の広域的な地域活性化、鉄道建設の立地適正化へ繋がるものと考え。	・大津町都市計画マスタープランにおいては、88ページ「⑦その他の地域」に、地域計画（農業形成基盤の強化の促進に関する計画）及び農業振興地域整備計画に基づき優良農地の保全や農地の集積・集約化に努めるとともに、用途地域等の土地利用誘導方策の導入について検討することを記載しています。 ・踏切対策の南北道路整備については、踏切遮断回数が増加しない位置において南北道路を整備し、交通量の分散を図ることとしており、今後は県と連携し、南北道路の具体的な線形や踏切の安全対策等について検討を進めます。 大津中央公園についても、現状と同等の機能を確保しつつ、より良い公園となるようリニューアルを図ります。今後はリニューアル後においても、現行と同等の公園機能や防災機能が確保されるよう、具体的なりニューアル案について県と協議・連携し、町民の皆様のご意見を伺いながら進めていきます。
5	P.88	新駅ゾーンは色んな意見はあると思うが、今しかチャンスはないのでしっかり検討するべき。 町の中にもう一つ駅ができれば絶対に便利になる。期待している人は大勢いるので、多くの町民の意見を聞きながら進めると良い。	ご賛同いただきありがとうございます。 アンケートや意見交換会等を通じて町民の皆様のご意見を伺いながら、引き続き取組を進めていきます。

No.	該当ページ	御意見	御意見に対する町の考え方
6	P.88	<p>中間駅の設置や周辺整備は「検討を進める」となっているが、南部地区の発展に必ずつながるため、その周辺に住む私達にとっては子どもや孫達の将来のためにも、検討ではなく、ぜひ一日でも早い実現を願います。</p> <p>もちろんその周辺の土地等で営農などを生業にされている知り合いもありますが、鉄道事業や中間駅設置に反対はされていませんし、逆に期待されています。</p> <p>周囲の方々も含め、中間駅への期待感は大きいので、最優先で取り組んで欲しいです。</p>	<p>ご賛同いただきありがとうございます。</p> <p>アンケートや意見交換会等を通じて町民の皆様のご意見を伺いながら、引き続き取組を進めていきます。</p>
7	P.91	<p>道路・インフラの老朽化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路面の凹凸が目立ち、安全面に不安があります。 ・電柱が乱立しており、景観を損ねています。 ・錆びた橋梁や外観の劣化した建物が放置されている箇所が見受けられます。 ・計画的な修繕および景観改善をお願いいたします。 	<p>91ページ「(1) 道路①道路ネットワークの基本的な考え方」に、町道については、費用を抑制しつつ快適に利用できるように、舗装維持管理計画や橋梁長寿命化計画に基づき、適切な維持管理を行うことを記載しています。</p> <p>また、肥後大津駅周辺では、肥後大津駅周辺まちづくり基本計画に基づいて、「歩行者を中心とした、安全で快適な交通環境の構築」のため、県道大津植木線の電柱配置見直しの検討を進めていきます。</p>
8	P.91	<p>住民福祉を重視した都市設計の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民がリラックスできる空間や福祉的視点に立った公共空間が不足しています。 ・歩道には雑草が多く、維持管理が行き届いていない印象を受けます。 ・高齢者や子育て世代が安心して暮らせる環境整備を望みます。 	<p>頂いたご意見の趣旨を踏まえ、97ページ「7.5 景観形成の方針」、102ページ「まちづくり構想（北部）」及び109ページ「まちづくり構想（南部）」に「地域の管理負担の軽減を意識した維持管理手法の検討」を追加します。</p>
9	P.92	<p>92ページの交通について、公共交通の強化を全力で取り組んで欲しいです。公共交通が使えるのであれば使えた方が生活する上で便利なので。</p>	<p>令和6年度町民アンケート結果においても全ての地域で「公共交通の充実」が改善の必要性が高い項目となっており、本町でも大津町地域公共交通計画の改定に向けて取り組んでいるほか、通勤バスの実証運行や乗合タクシー運行エリアの見直しなどに取り組んでいます。79ページの将来都市構造や92ページの都市施設の整備方針(2)交通等に、公共交通の維持・機能強化などを記載しています。</p> <p>今後も、利用者の声を聞きながらニーズにあった取組を進めていきます。</p>
10	P.93	<p>公園・緑地環境の不足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動や散歩ができる場所が実質的に大津運動公園に限られており、選択肢が少ない状況です。 ・既存の公園は運動場中心で、木陰でゆったり散策や花を楽しめる空間が不足しています。 ・合志市農業公園のように、樹木や花に囲まれ、家族や高齢者が安心して散策できる農業公園型の緑地整備をご検討いただきたいです。 	<p>93ページ「公園、レクリエーション施設」に記載のとおり、既存の公園については機能の充実や、新たな市街地創出等に合わせた公園整備の検討、大津中央公園の機能強化、岩戸溪谷の遊歩道等を整備について記載しています。</p> <p>頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。</p>
11	P.95	<p>23.南北道路の新設については、新設ではなく、既存道路の拡張で対応すべきだと考えます。既存道路とはR57の鮮度市場交差点からネットワーク大津・瀬田竜田線へ至る直線道路です。瀬田竜田線から美咲野へとつづく矢護川大津線に入るにはR57を経由しなければなりません、こちらの方が合理的ではないでしょうか？</p> <p>道路新設では住宅地や農作地帯を縦断しなくてはならず、住宅の立ち退きや農地の廃止など住民の多大な犠牲を伴いますし、当然コストも懸念されます。空港アクセス鉄道には管理用の側道が設けられるので、これを利用する手も考えられますが、高架で通す鉄道とは違い、道路は高低差がある場所（ネットワーク大津の東側）には通せないでしょう。したがって、鉄道の側道を利用するにしても、限られた区間のみとなり、それほどメリットはないと思われます。</p> <p>新たに道路を増やせば、ますます交通網が複雑になり、管理やメンテも大変になります。</p> <p>エコ・コンパクトなまちづくりを目指しているのであれば、シンプルかつ最小限の変更で最大限の効果を狙わなくてはなりません。</p>	<p>91ページ「(1) 道路②地域幹線道路・補助幹線道路」に、空港アクセス鉄道や新駅ゾーンの整備に向けた検討状況等を踏まえながら南北道路を整備し、北部地域と南部地域のアクセス性を向上させることを記載しています。</p> <p>コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりにおいても拠点と集落の連携強化が重要であることから、南北道路の整備に引き続き取り組むこととしています。</p> <p>なお、道路整備においては、効果的かつ既存建築物への影響を最小化できるルートを検討していきます。</p>
12	P.95 P.115	<p>95ページおよび115ページの23.南北道路の整備というのが新設計画されているようですが、この道路ができることによって、空港アクセス鉄道のように住宅の立ち退きがまた発生するということですか？新設道路が予定されているエリアは新興住宅地です。住民の住む権利を奪い、立ち退かせてコミュニティを破壊することは止めていただきたいです。町あつての住人ではなく、住民あつての町です。</p>	<p>91ページ「(1) 道路②地域幹線道路・補助幹線道路」に、空港アクセス鉄道や新駅ゾーンの整備に向けた検討状況等を踏まえながら南北道路を整備し、北部地域と南部地域のアクセス性を向上させることを記載しています。</p> <p>コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりにおいても拠点と集落の連携強化が重要であることから、南北道路の整備に引き続き取り組むこととしています。</p> <p>今後、実現に向けて、頂いたご意見を参考にさせていただきます。</p>
13	P.97	<p>世界灌漑遺産でもある上井手を整備清掃して欲しい、更に田んぼダムを拡大して水資源の涵養に具体的実践を施して下さい。</p>	<p>97ページ「景観形成の方針」に、上井手などの歴史的な資源を活かしたまちづくりを進めること記載しています。</p> <p>今後も、社会情勢や環境の変化を注視しつつ、頂いたご意見も踏まえながら、まちの将来像を見据えた施策の検討と推進に努めていきます。</p>
14	P.97	<p>太陽光パネルの撤去又はこれ以上は設置をしない。</p>	<p>97ページ「景観形成の方針」において、熊本県景観計画に基づき、良好な景観づくりへの誘導を行うこととしています。</p> <p>また、大津町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理等に関する条例により、太陽光発電設備の設置や管理を適正に行うためのルールを定め、災害の防止や生活環境・景観の保全を図り、地域と調和した形で再生可能エネルギーを活用しながらも、無秩序な開発を防ぎ、住民の皆さまの安全・安心の観点から、指導を行っていきます。</p>

No.	該当ページ	御意見	御意見に対する町の考え方
15	P.97	工場が増えてるが外国人受け入れ問題や工場増加によってでの汚染物質や廃棄物の増加や水質汚染と自然破壊への環境問題を考えて計画してほしい。	87ページ「(2)土地利用構想②工業・流通業務地」に、町の北西部において工場等の開発が増加していることから、用途の混在の抑制に向け、用途地域等による土地利用規制方策の導入について継続的に検討することとしています。 工場の新設に当たっては、良好な住環境の保全と操業環境を確保するため、工業・流通業務地への誘導に取り組むとともに、関係法令の遵守を前提に環境負荷の低減や自然環境の保全に配慮した整備を引き続き進めていきます。
16	P.97	街路樹・都市景観の整備不足 ・町内道路の両側に街路樹がほとんどなく、景観的にも非常に殺風景です。 ・夏場は直射日光を遮るものがなく、歩行環境としても厳しい状況です。 ・計画的な街路樹整備と景観デザインの向上を希望します。	街路樹については、都市景観の向上や歩行空間の快適性の確保などに寄与する一方、樹木の老朽化に伴う安全面への懸念や維持管理に係る負担が課題となっています。こうした点を踏まえ、必要な緑の確保に配慮しつつ、配置の見直しを行うなど、地域特性に応じた適切な整備と維持管理を進めていきます。 また、肥後大津駅周辺まちづくり基本計画では「歩行者を中心とした、安全で快適な交通環境の構築」のため、県道大津植木線の電柱配置見直しの検討を進めていきます。
17	P.97	無秩序な開発と景観配慮不足 ・建設が進む中で、阿蘇山の眺望が徐々に遮られていることに強い懸念を感じています。 ・景観条例や高さ制限など、自然景観を守るための都市計画的配慮を強化していただきたいです。	97ページ「景観形成の方針」に記載のとおり、大津町全域において、熊本県景観計画に基づき、大規模行為は届出対象行為となります。 頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
18	P.97	私の観察と生活の中で感じたこと 街のスカイラインの問題 電柱があまりにも多すぎる、錆びた歩道橋、色あせた高彩度の古い看板があちこちにあって、遠くに見える美しい阿蘇山の景色を、四角四角した高層マンションが次々と建って完全に遮ってしまっている。	97ページ「景観形成の方針」に記載のとおり、大津町全域において、熊本県景観計画に基づき、大規模行為は届出対象行為となります。 頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。
19	P.97	国道57号線沿いで気になること ・何の案内標識も道路標識も付いていないただの鉄棒だけの看板がそのまま放置されている場所がある ・道路の両側に毎年すごく手間とお金をかけて刈り込んでいるのに、結局どこも腫瘍みたいに不健康そうなゴボゴボした木ばかりで、冬になると本当に何の風情もない ・大津駅近くの道路の真ん中に、明らかに工事もしていないのに半永久的な（っばい）中央分離帯がずっと残っていて、なんだかこの街全体が「まだ完成していない」「仮住まい感」がずっと抜けない雰囲気になっている こういう細かいところの積み重ねが、街の「完成度」や「気持ちよさ」に意外と大きく影響している気がする。	頂いたご意見は今後の参考とさせていただきます。 なお、肥後大津駅周辺まちづくり基本計画では、取組の実現に向けて、空間、景観のデザイン等の考え方（指針）を整理することとしており、まちの印象を決める街道づくりなど、取組を進めていくこととしています。
20	P.97 P.98	再開発の前に地震へのそなえは充分なのか？おとなり菊陽町は防災拠点をつくったが、大津ってありました？備蓄は？古い家への対応は？	熊本地震後、被災した役場庁舎の再建に当たり、免震構造や予備電源等により防災拠点としての機能を含め整備しています。 さらに、北部（矢護川コミュニティセンター）、中部（楽善地区）、南部（運動公園）に防災倉庫を整備しています。 また、117ページに、空き家バンク制度等により空き家の利活用等を推進することを記載しています。
21	P.109	南部地域 「快適に暮らせる町づくりに関しての意見」 意見： 自然環境保全および安全・安心まちづくりの方針に関連し、当該南部地域を始めとする山林や農地が多い地域における草刈りや水路管理などの区役について、外注可能な単価水準への見直しを明記していただきたい。 現在、区役の草刈りなどの日当は3,000円前後であることが多いと認識しています。実作業が3?4時間程度であっても、事前準備や機械の積み込み、現地までの移動、作業後の後片付けなどを含めると、実働時間に加えて少なくとも1時間程度は必要となります。仮に合計4?5時間とすると、時給換算では600?750円程度となり、最低賃金を下回る水準になります。さらに燃料費や機械の減価償却費を考慮すると、実質的な負担はより大きいものです。 一方で、同様の作業を専門業者へ依頼すれば1日数万円規模となるのが一般的です。現行単価では外注という選択肢が現実的に取りにくい状況にあります。 高齢化が進む中、地域維持管理を慣習に依存するのではなく、業務として成立する単価水準へ段階的に引き上げることが、防災・景観保全・持続可能なまちづくりの基盤になると考えます。適正単価の設定と外注可能な仕組みづくりを計画に位置付けていただくことを要望します。	頂いたご意見の趣旨を踏まえ、97ページ「7.5 景観形成の方針」、102ページ「まちづくり構想（北部）」及び109ページ「まちづくり構想（南部）」に「地域の管理負担の軽減を意識した維持管理手法の検討」を追加します。
22	P.113	113ページの「実現に向けて取り組むべき重要施策」は、夢があることがらなので、せつかつならもう少し華やかな色合いで、表現してはどうですか？	頂いたご意見を踏まえ、113ページの色を修正します。
23	P.114 P.116	あと114,116ページのNO.9,10,29,31が実現すると大津町はとても変わると思います。肥後大津駅や中間駅に何が出来るかではありますが、大津町で過ごす時間が増え、仕事から帰宅までの時間でタイパが良くなりそう。	ご賛同いただきありがとうございます。 引き続き肥後大津駅周辺のまちづくりや、中間駅周辺のまちづくりの検討等の取組を進めていきます。
24	P.115	115ページの道路整備事業のNO.21、24を早く実現して欲しい。渋滞対策が進むなど通勤ルートの選択肢が増えるとありがたいです。	ご賛同いただきありがとうございます。 渋滞解消の観点からも引き続き各種道路整備を進めていきます。

No.	該当ページ	御意見	御意見に対する町の考え方
25	その他	<p>平素より町政運営にご尽力いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>大津町に居住する者として、日頃感じている都市環境に関する課題について、下記の通り意見・要望を提出させていただきます。</p> <p>畜産臭（牛糞臭）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内において牛糞の臭気が非常に強く感じられる日が多く、日常生活に支障をきたしております。 ・特に風向きによっては長時間臭気が滞留し、洗濯物や屋外活動にも影響があります。 ・畜産業と住環境の調和を図るため、臭気対策の強化や管理基準の見直しをご検討いただきたいです。 	<p>86ページ「(2)土地利用構想」に基づく取組を進めることで、良好な住環境の保全と産業の推進に取り組んでいくこととしています。</p> <p>また、畜産臭については、悪臭防止法にある基準をもとに県と連携し調査しています。</p> <p>頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます、畜産業と住環境の調和が図られるよう畜産環境対策の検討と推進に努めていきます。</p>
26	その他	<p>ご存じの通り、昨年12月（21・23日）、大津町で開催された熊本県の「空港アクセス線（素案）説明会」において、住民より、騒音・振動・交通渋滞・水田や事業への影響など懸念する多くの声が上がリ、沿線住民の理解は得られないまま終了しました。これを受け、熊本県は再度説明会を開催することを報道されています。</p> <p>「大津町都市計画マスタープラン」は、中間駅の整備もあり空港アクセス線の密接に関連しています。しかし、その空港アクセス線が、沿線住民に理解を得られてない今現在で、大津町住民に「大津町都市計画マスタープラン」「大津町立地適正化計画」の意見を募集するのは、時期も順番も違うのではないのでしょうか？ その為、以下の意見を申さざるを得ません。</p> <p>空港アクセス線の沿線で生活している住民にとって、騒音・振動・日照など生活環境を著しく損なう恐れ、更に健康への影響や資産価値低下など深刻かつ重大な問題です。これは、上位計画（P5）の「将来ビジョンと取組む姿勢」の「本計画は…いまを生きる全ての町民の幸せを基盤とし…」と矛盾しています。</p> <p>大津町主導で「空港アクセス鉄道」に関する意見交換会（複数日）やアンケートなどで多くの住民の意見収集・整理頂き、熊本県との協議を要望します。</p> <p>心・安全・快適に暮らせるような『大津町都市計画マスタープラン』の策定をお願いします。</p>	<p>阿蘇くまもと空港アクセス鉄道の整備や中間駅の新設については、町の将来の都市構造や交通体系に大きな影響を与える重要な要素であると認識しています。これらについては、町民の皆様のご意見を伺うとともに、国や県をはじめとする関係機関と連携しながら、町の発展や町民生活に資するかという観点から、戦略的な都市空間の形成に取り組んでいく考えです。</p> <p>今後も、社会情勢や事業環境の変化を注視しつつ、頂いたご意見も踏まえながら、まちの将来像を見据えた施策の検討と推進に努めていきます。</p>
27	その他	<p>肥後大津駅の高架駅化の必要性とその活性効果の考察（案）</p> <p>《理由:TSMC関連の工事に伴う、交通量増大を原因として。》順不同</p> <p>その理由（現状）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大津駅東西の踏切の通行量が増加し、流動性を阻害し渋滞が始まっている。（特に、西踏切は狭隘で、Sカーブでもあり、北行きは一方通行である。） 2 列車本数の増便から、東踏切は遮断時間が増え、渋滞が始まっている。（東西踏切は南北の交差点が近い為、滞留時間が渋滞の原因となっている。） 3 大津駅周辺の、商・住環境機能の流動性を阻害され、利便性を阻害している。（駅南北地域において流動性が滞留され、商業居住活動が低下している。） <p>その対策（改良）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 大津駅の東西踏切は、通行量の増加を鑑み、踏切廃止が望ましい。 2 南北の利便・流動性の向上には、市街の将来性を考慮し高架化が望ましい。 3 県道30号線の通りから南への、バイパスに至る流動性に効果的である。 4 交通の流動が活発になることから、バイパス交差点付近の拡充が必要である。 <p>その他効果（利便）（活況）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 踏切を廃することで、流動性の向上により駅周辺の活況が期待できる。 2 北・南の流動性が飛躍的に向上するため、駅周辺の活況が期待できる。 3 高架駅により、高架下を魅力ある場・地区として、活況が期待できる。 4 高架建設により、西側・東側の高架下部分の有効活用が期待できる。 5 空港アクセス鉄道の分岐駅とした場合、百年の計の駅改良に期待ができる。 <p>高架下活用案</p> <p>●商業店舗 ●地元物産ホール ●アンテナショップ（台湾等） ●医院 ●文化展示ホール ●ATM ●ビジターセンター ●保育・育児園 ●駅設備</p> <p>●貸し事務所</p> <p>●ワンコイン劇場 ●駐車場・倉庫 ●大津町展示室 ●バス・タクシー乗り場 ●その他</p>	<p>肥後大津駅周辺では、92ページ（2）交通において、肥後大津駅周辺まちづくり基本計画に基づき、民間事業者を含む関係者と連携しながら、南北の連携を高め、歩行者の移動を円滑にする自由通路及び橋上駅の整備等に取り組むことを記載しています。</p> <p>頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
28	その他	<p>全体的な意見ですが、再開発で長い期間あちこち工事になって生活が不便になっている（TSMCもそう、鉄道もそう、道路工事もそう）そこへの配慮がほしい。</p>	<p>計画的に事業を推進することで、事業期間中の影響や対応等に関する内容の事前周知等に努め、住民生活への影響の最小化を図っていきます。</p> <p>頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
29	その他	<p>できるだけ木を植えて、夏のこかげをつくってほしい。駐車方が夏の暑さで酷いことになるし、車社会なのにあまりその視点がない</p>	<p>肥後大津駅周辺の東西軸や南北軸では、肥後大津駅周辺まちづくり基本計画に基づいて、官民連携でみどりの創出に取り組むこととしています。</p> <p>頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>
30	その他	<p>TSMCがいつまで日本に工場の拠点を置くかはわからないと考えてほしい。外国の一企業にたよった町づくりをして大丈夫か、慎重になってほしい。（半導体もAIもバブル的なところがある）</p>	<p>今回の都市計画マスタープランの改定は、近隣の先端半導体企業の進出を一つの要因としていますが、そのみならず総合的に現状を分析し検討したものです。</p> <p>頂いたご意見は、今後の参考とさせていただきます。</p>